

令和7年度 森山 啓ジュニア文芸賞

問い合わせ 学校教育課 ☎24・8122

森山啓ジュニア文芸賞は「小松市小・中学生かけはし文芸コンクール」の応募作品の中から、特に優れた作品に贈られます。今年度も市内小・中・義務教育学校から感性にあふれた多くの作品が寄せられ、1月31日(土) 團十郎芸術劇場うららにて授与式が執り行われました。

〈作文の部〉

安宅小学校4年 田邊 洸 さん

〈詩の部〉

矢田野小学校1年 矢伝 旺湊 さん

〈短歌の部〉

那谷小学校2年 加藤 隆麻 さん

〈俳句の部〉

国府中学校3年 曾良 心優 さん



今年で29回目を迎えた「小松市小・中学生かけはし文芸コンクール」は、更なる文芸振興を目指し、来年度から「小松文芸」と統合されます。

今後は「小松文芸」を通して文学への関心を高め、子供たちの言葉の力を育てていきます。



国際交流コーナー
International City
KOMATSU

国際交流員パウロの“こまつ探訪” オブリガード 「Obrigado, Komatsu.」



問い合わせ 観光交流課 ☎24・8039

4月に小松市国際交流員の任期を満了します。2021年12月から小松への配属が決まり、すぐにインターネットで小松のことを調べて、どんな町だろうとワクワクしたことを覚えています。実際に来てみると、想像をはるかに超えるほど自然が美しく、食べ物もおいしく、何よりも人が親切で、小松に来ることができてよかったですと感じました。

この4年半で、仕事や普段の生活から多くのことを学びました。文化の違いから、今では笑える失敗談もたくさんあります。

例えば、日本では大切にされている相づちです。日本では会話の途中でよく「はい」や「そうですか」などの相づちを打ちますが、私の出身国ブラジルでは相手を急がせているように思わせるため、相づちを打つことはありません。それを知らなかった私は、先輩や友達の説明を何も言わず黙って聞いていて「理解していないのでは?」と思われてしまったことが何度もありました。

こういった文化の違いや言葉の違いにより迷惑をかけたり、自分自身が戸惑ったりすることもありましたが、友達や同僚に助けてもらいながら、少しずつ日本の文化や習慣を身に付けることができました。

安宅海岸で見た夕日、木場潟公園での花見、そして、小松で出会った友達の笑顔は、いつまでも心の中に残ります。Obrigado(ありがとう)!



芦城公園に植えられた桜の木▲
(スズノ市姉妹都市提携40周年記念)

